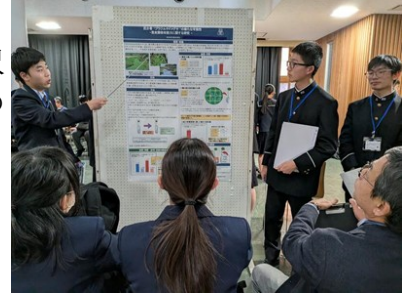


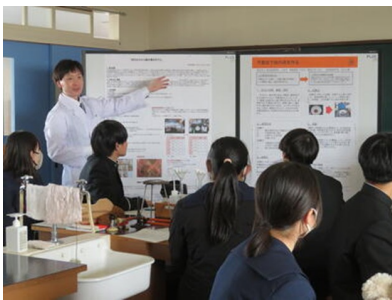


## 祝！SSHⅡ期採択されました

3月25日(水)ついにその瞬間が訪れました。熊本県教育委員会より、本校が令和8年度スーパーサイエンスハイスクールに採択されたとの連絡が入ったのです。申請数は40校(基礎枠)。その中で23校が採択されました。I期(経験5年)~IV期(経験20年)が混在し競合する中で、見事採択を勝ち取ることができました。



本校は令和3年度に県北初のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)として採択され、令和7年度まで、全校体制とSTEAM教育(教科横断的活動)を柱に、生徒の科学的発想力、科学的探究力、科学的発想力の育成に取り組んできました。



SSHは指定期間が5年となっており、令和7年度が本校I期の最終年度でした。では次年度、令和8年度はどうなるのか。続けるには、新規に申請をし、再度採択を勝ち取らなければなりません。研究開発部を中心に2年間をかけて探究活動の活性化、外部連携の促進、外部発表会への積極的参加や受賞(サイエンスキャスルアジア大会での金賞、KSH研究成果発表会、九州大学世界に羽ばたく高校生の成果発表会等への参加)、HPへの活動記事の掲載等普及活動の充実など、申請に向けた準備を行ってきました。

申請書の作成においては、I期の活動を総括してその課題(課題研究レベルの向上、研究倫理、評価方法等)の改善案を組み込み、また教育のトレンドを、OECDのラーニングコンパス2030や文部科学省の2040年に向けた学習指導要領の方向性などから取り入れました(コンピテンシーの養成、理系女子教育、教科横断、総合知)。そして採択に向けて多くの方々の知見とご尽力をいただきながら、12月の申請、1月のヒアリングをクリアし、3月25日、採択内定の通知を受け、本校Ⅱ期SSHが4月より始まることとなりました。

Ⅱ期の特色として、①行動指標コアコンピテンシーの導入、②YSPアカデミアによる探究活動のための基礎力育成、③評価方法の明確化(YSPアセスメント、形成的・総括的評価としての面談等)、④外部連携・外部発表の活性化、⑤理系女子育成などが挙げられます。I期からの特色であるクロスカリキュラムや鹿本STEAMに、Ⅱ期の新しい内容を加え、ますますのSSH活動の充実を図っていきたく考えています。今後とも、よろしくお願いたします。

